





その後、入学式もガイダンスも中止しました。6月15日から図書館と、対面で

課題はオンライン授業を順調に受けることでした。4月初頭から中旬にかけて、授業開始を4月21日とすること、当面の

あいだオンラインで授業を実施すること、その受講方法、そして教員と学生とのあいだで、通信環境の確認をしながらすすめていくことなどを、伝えました。しかし当然ながら通信環境のまだ整っていない学生も、パソコンをもっていない学生もいました。そこで少しでも安心していただくために4月24日、オンライン授業受講のための通信環境支援としてパソコン貸与、Wi-Fiルーター貸与を行う準備に入っていることを伝えました。必要なのは通信環境支援ばかりではありませんでした。すでにこの時期、アルバイトを失う学生や家族の家計急変に見舞われる学生もいました。そこで学費延納制度や家計急変のための奨学金制度を周知しつつ、その拡充を予告しました。次の段階では5月1日からWi-Fiルーターの無償貸与、通信容量増設費用補助、パソコンの無償貸与、給付型家計急変学生奨学金の強化、外部の奨学金情報、学生の学内雇用の拡大、そして「新型コロナウイルス緊急対策奨学金」の創設などの具体策をお知らせしました。この「新型コロナウイルス緊急対策奨学金」は5月1日より募集を開始し、すでに皆様から多くのご支援をいただいております。

Tanaka Yuko

1952年神奈川県生まれ。1974年3月法政大学文学部卒業。1977年3月同大学院人文科学研究科修士課程修了。1980年3月同大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。1980年4月法政大学第一教養部専任講師、1983年4月同助教授、1991年4月同教授、2003年4月社会学部教授、2012～2013年度同学部長。2014年東京六大学で初の女性総長に就任。専攻は江戸時代の文学・生活文化、アジア比較文化。『江戸の想像力 18世紀のメディアと表徴』（ちくま学芸文庫）で芸術選奨文部大臣新人賞を、『江戸百夢 近世図像学の楽しみ』（ちくま文庫）で芸術選奨文部科学大臣賞、サントリー学芸賞受賞。近著に『江戸とアバター』（朝日新聞出版）など。



巻頭言

新型コロナ下の大学

法政大学総長

田中 優子

9月末までの募集を行っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

このような状況のなか、私はとりわけ新入生を念頭に置きながら、4月13日より「総長から皆さんへ」という「手紙」をHP上で毎週発信しました。まだ一度も大学に入っていない新入生をはじめとした学生たちに、心をかけていることを伝えたいと思ったのです。内容は、学生が自宅にいる間にもできる読書について、その大切さや、何を読んだらよいのかなど、多岐にわたりました。

世界中で「コロナ後の大学」は変わります。今後も学生を支援しつつ、「これからの法政大学」を積極的に構想していきたいと考えています。

HOSEI EYE

法政の「いま」をお伝えします。

学生向けにさまざまなオンライン企画を実施しました

新入生サポート

学習ステーションでは、5月11日（月）～15日（金）の期間、ビデオ会議「Zoom」を活用したオンライン「新入生サポート」を実施。不安を抱えた新入生から、時間割の組み方やサークルについてなどさまざまな質問が寄せられ、上級生たちが親身になって向き合いました。



2019年度「新入生サポート」の様子

新しい読書スタイル「つながる読書会」

図書館では、5月13日（水）と18日（月）に、新しい読書スタイル「つながる読書会」を開催。「本」を使ったオンライン上のコミュニケーションを目的とした企画で、両回とも和やかな雰囲気の中、楽しく行われました。参加者からは「年代・学部・研究科の異なる人とつながり、いろいろな価値観を知れた」などの感想が寄せられました。



読書を通してオンラインならではの方法で交流を深めた

課外教養プログラム「多摩キャンパスバーチャルツアー」

学生センターでは、5月29日（金）、新入生を対象にオンラインの仮想地図「Google ストリートビュー」を使用した、課外教養プログラム「多摩キャンパスバーチャルツアー」を実施。学生スタッフ考案のクイズや写真を使った施設の紹介を交えながら、多摩キャンパスを一緒に歩いているかのように進められました。



東京ドーム約17.6個分の広さを誇る多摩キャンパスを案内

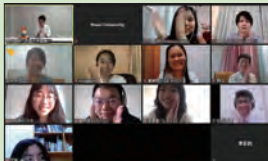


季節ごとに姿を変える多摩キャンパスの魅力も紹介

海外交流協定大学との「オンライン学生交流会」

総長室付教学企画室では、5月より海外交流協定大学との「オンライン学生交流会」を開催。日常の活動が制限される状況下、自分の生活にどのような変化があったのか、海外の学生たちと語り合いました。交流先：5月29日（金）日越大学（ベトナム）、6月1日（月）北京科技大学（中国）、6月3日（水）と24日（水）天津外国語大学（中国）、6月27日（土）ベルティ大学（カンボジア）

※「オンライン学生交流会」に関する詳細は、TOPICS（→P.28）でも紹介しています。



北京科技大学（中国）とのオンライン学生交流会の様子



授業が再開し、教室で交流会に参加する日越大学（ベトナム）

HOSEI 8・9 Contents

communication magazine 2020

- 02 HOSEI EYE 学生向けにさまざまなオンライン企画を実施しました
- 03 総長 巻頭言
- 04 「2019年度決算について」
- 05 「2020年度予算について」
- 07 「新型コロナウイルス緊急対策奨学金」へのご支援のお願い
- 08 2019年度卒業生の進路状況について
- 09 2020年度入試結果について
- 10 学生相談室を利用してみよう
- 13 2020年度新任 学部専任教員一覧

- 14 卒業生インタビュー
「野球は人生を豊かにする最高級な遊び それを次世代に伝えるのが私の使命」
一般財団法人全日本野球協会 会長、日本野球協議会侍ジャパン強化本部 本部長、アジア野球連盟 副会長 山中 正竹さん
- 16 ESSAY
「ゼミ生とチームで挑む ソーシャルメディア研究」
社会学部メディア社会学科 教授 藤代 裕之
- 18 HOSEI PHRONESIS VOL.30
「物語構造に着目して情報を探し出すしくみを構築」
情報科学部コンピュータ科学科 教授 赤石 美奈

- 20 Message 「アメフトから学んだ『挑戦すること』の大切さ」
経営学部経営学科4年 岩松 夢乃 さん
- 21 THE SCENE VOL.122 卓球部
- 22 後援会だより 「2020年度後援会会長 就任あいさつ」「会長退任あいさつ」ほか
- 26 HOSEI ミュージアム VOL.012
「重量挙げとオリンピックの栄光～競技の発展を支えた三宅義信～」
- 27 校友会だより
- 28 HOSEI TOPICS
- 30 付属校短信
- 31 BOOKS

裏表紙 2019年度自由を生き抜く実践知大賞2

COVER 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 撮影：平野太呂

外濠校舎に入ると天井から吊り下げられた大きなエンブレムが目にとまります。このエンブレムは法政大学の伝統ある校章とその頭文字H、そしてシンボルモチーフを組み合わせたもので、2013年に策定されました。エナメルギッシュに躍動する法政大学の姿を表現しています。

「2020年度予算について」

2020年度
予算編成の基本方針



I

事業活動収支計算において、基本
金組入前当年度収支差額の目標値
(最低値)を4.88 億円とし、全ての
経費について、費用対効果を重視
した見直しを徹底する。

II

第一期中期経営計画に基づき、各
取り組み施策の継続的な実施を図
る。

III

減価償却引当特定資産への積み増
しを行う。

学校法人の予算とは

学校法人を運営するための財源は、その
大半が学生・生徒（保護者）からの学費、
受験料、寄付金および国・地方公共団体か
らの補助金などの資金によって賄われてい
ます。これらの収入を見積み、いかに効率的・

効果的に教育研究活動や施設・設備の改善・
充実を図っていくかという計画を立てるの
が学校法人の予算です。学校法人の収入源
は限られています。また、支出も教職員の
人件費や校舎の維持費用など、その多くが
固定的です。その中で、教育研究条件の向
上に努め、質の高い教育研究を永続的に展
開していくためには、中長期的な財政計画
の下、各年度に具体的方針を定め、教学上
の諸要求と財政の調和を図りながら、収支
の均衡のとれた予算を編成する必要があります。

① 予算編成方針

本学の中長期的な収支見通し
は、収入面においては、文部科学
省による定員管理の厳格化政策の
下、学校法人の主たる収入である
学生生徒等納付金の大幅な増額を
見込むことは困難であり、この状
況は今後も続くことが見込まれま
す。一方、支出面において、施設・
設備の維持・管理・更新などの教
育・研究環境整備に要する経費の
他、奨学金など学生生活を支援す
る経費、グローバル化に伴う関連

経費など、今後も拡大・固定化傾
向が見込まれます。
2020年度は、直近の各年度
における学部新入生の受入状況か
ら、学生生徒等納付金は大きく減
額し、収入全体は前年度予算比で
減少することが見込まれます。

また、支出面では、建設・修繕
事業として、市ヶ谷キャンパス
55・58年館建替工事をはじめとす
る各校地の建物・設備などに係る
各種修繕工事を実施する他、
ICT事業では、3 キャンパス情
報教育システムなど年次計画に基

づくシステムリプレースを予定し
ており、施設・設備など教育研究
環境の維持・管理・更新などにつ
いて、多額の事業経費を要します。
2020年度予算は、前述の状
況から厳しい収支状況が見込まれ
ているため、全ての事業において、
直近の実績や客観的指標などの根
拠を重視した予算配分や事業の縮
小などを含めた見直しを徹底する
こととし、左記の基本方針を掲げ、
予算編成を行いました。

「2019年度決算について」

① 2019年度事業報告

本学は現在、長期ビジョン
(HOSEI2030)のもと、2017
年度に策定した第一期中期経営計
画(2018年度～2021年度)
により、取り組みを進めています。
第一期中期経営計画は、「教学改
革(キャンパス再構築の推進)」、
「教育・研究環境整備」、「財政健
全化」を三つの柱として、その中
核に位置付けています。これら三
つの柱は、個別の目標、計画を持
ちつつ、相互に深い関連性があり
ます。三つの柱をいづれも適切な
プロセスで実行することで、相互
の施策の進展を担保し、中期経営
計画全体の実現を目指します。
2019年度に行った主な事業
は、① HOSEI ミュージアム
の設置・運営事業、オンライン化
システム構築事業などの重点施策
事業、② (文部科学省) スーパー
グローバル大学(SGU) 創成支
援事業、③ (市ヶ谷・多摩・小金
井) 空調更新工事、(市ヶ谷)
55・58年館建替工事などの建設・
修繕事業、④ 教育学術情報ネット
ワーク(net2017)、情報
基盤システム、市ヶ谷・多摩・小
金井情報教育システム(edu)
などのICT事業などです。
上記の他、「HOSEI2030
アクション・プラン報告」におい

て提言し、準備・検討を進めてき
ました「事業評価制度」を2019
年度より導入しています。「事業
評価制度」は、本学の運営ならびに
財政の健全化を目的とし、新規・
既存を問わず、事業についてその
実現方法やコストの妥当性、目標
に対する成果、本学における必要性
などを評価して、事業内容の見直
しなどの判断に生かすものです。

② 貸借対照表(表1)

資産の部合計は、有価証券の増
加などにより前年比38億円の増と
なりました。一方、負債の部合計
は、長期借入金金の減少などにより
前年比11億円の減となりました。
また純資産の部は、繰越収支差額
48億円の増などにより前年比49億
円の増となりました。

③ 事業活動収支計算書(表2)

2019年度の事業活動収入は
507億円となりました。一方、
事業活動支出は458億円となり
ました。事業活動収入から事業活
動支出を引いた基本金組入前当
年度収支差額は49億円の収入超過と
なりました。また、基本金組入前
当年度収支差額から基本金組入額
を控除した当年度収支差額は48億
円の収入超過となり、翌年度繰越
収支差額は458億円の支出超過
となりました。

表2 事業活動収支計算書

(単位: 百万円)

科 目		2019年度決算	(参考)2020年度予算	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	40,428	39,060
		手数料	3,389	3,514
		寄付金	455	389
		経常費等補助金	4,350	4,057
		付随事業収入	515	346
		雑収入	1,000	765
		教育活動収入計	50,137	48,130
	事業活動支出の部	人件費	26,666	26,958
		教育研究経費	16,345	17,750
		管理経費	2,503	2,469
		徴収不能額等	0	0
		教育活動支出計	45,514	47,177
		教育活動収支差額	4,623	953
	教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	397
その他の教育活動外収入			31	31
教育活動外収入計			428	430
支出の部		借入金等利息	36	31
		その他の教育活動外支出	0	0
		教育活動外支出計	36	31
教育活動外収支差額	392	399		
経常収支差額	5,015	1,352		
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0
		その他の特別収入	120	2
		特別収入計	120	2
	支出の部	資産処分差額	247	1
		その他の特別支出	11	0
		特別支出計	258	1
		特別収支差額	△138	0
〔予備費〕			500	
基本金組入前当年度収支差額		4,877	852	
基本金組入額合計		△44	△3,526	
当年度収支差額		4,833	△2,673	
前年度繰越収支差額		△50,621	△46,756	
基本金取崩額		0	0	
翌年度繰越収支差額		△45,788	△49,429	

事業活動収入計	50,684	48,562
事業活動支出計	45,807	47,709
事業活動収支差額比率	9.6%	1.8%

表1 貸借対照表

(単位: 百万円)

資 産 の 部			
科 目	2019年度末	2018年度末	増 減
固定資産	204,998	198,226	6,772
有形固定資産	138,390	141,206	△ 2,816
特定資産	44,096	41,970	2,126
その他の固定資産	22,511	15,050	7,461
流動資産	22,525	25,527	△ 3,002
資産の部合計	227,522	223,753	3,769
負債の部・純資産の部			
科 目	2019年度末	2018年度末	増 減
固定負債	18,986	19,660	△ 674
長期借入金	4,904	5,281	△ 377
長期未払金	894	1,161	△ 267
退職給与引当金	13,188	13,218	△ 30
流動負債	10,009	10,442	△ 433
短期借入金	377	502	△ 125
未払金・前受金・預り金	9,632	9,940	△ 309
負債の部合計	28,995	30,102	△ 1,108
基本金	244,315	244,271	44
繰越収支差額	△ 45,788	△ 50,621	4,833
純資産の部合計	198,527	193,650	4,877
負債及び純資産の部合計	227,522	223,753	3,769

減価償却累計額	92,520	92,718	△ 198
基本金未組入額	5,908	6,928	△ 1,020

(注) 表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、
合計が計算上一致しない場合があります。

本学では予算・決算の内容をウェブサイトで公開しています。詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記 URL までアクセスしてください。

<https://www.hosei.ac.jp/hosei/johokokai/hokoku/>



本学を取り巻く経営環境は、前述の通り、厳しい状況が続く見込みです。重点的・強化事業への予算配分による事業実施と並行して、経費削減および収入源の確保に係る計画的な取り組みも進めていく必要があります。

2030年の本学の目指す姿を実現するための諸事業の推進には、多くの財源を必要とします。より強固な財政基盤の構築とともに、諸事業に要する財源の捻出のためにも、「HOSEI2030アクション・プラン報告」にて取りまとめた外部資金の獲得など収入源の拡充、経費削減の徹底や、事業評価制度による事業の在り方の見直しなどに取り組む必要があります。これらは、第一期中期経営計画にも盛り込まれており、引き続き、諸施策・事業の推進と財政の健全性の確保を両立させることの必要性を十分に認識し、財政運営を行っていきます。



「新型コロナウイルス緊急対策奨学基金」へのご支援のお願い

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）禍に伴い家計が急変した学生、アルバイト収入が激減した学生を支援するため、法政大学では既存の「家計急変奨学金」に加え、「新型コロナウイルス感染症禍に伴う家計急変奨学金」および「新型コロナウイルス感染症禍に伴う緊急支援奨学金」を新設いたしました。両奨学金とも返還不要の給付型の奨学金です。

両奨学金を通して、学業継続上の困難に直面している学生を支援するために、「新型コロナウイルス緊急対策奨学基金」を募集しております。卒業生をはじめとした皆さまの厚いご支援とご協力を賜りたく、ぜひともお願い申し上げます。

◆募金要項◆

募集目的

新型コロナウイルス感染症禍に伴う生徒、学生への緊急支援のため
<支援策>（家計支持者の）新型コロナウイルス感染症禍に伴う家計急変奨学金【給付型】
（アルバイト学生のための）新型コロナウイルス感染症禍に伴う緊急支援奨学金【給付型】など

募集期間

2020年5月1日（金）～2020年9月30日（水）

募集金額

一口10万円
※複数口をご支援いただくことが可能です。
※一口の金額を問わず受け入れさせていただきます。

寄付受入

ご寄付は「リーディング・ユニバーシティ法政募金」として受け入れます。
※法政大学へのご寄付は、寄付の税制優遇措置（寄付金控除）の対象となります。

◆申込方法◆

インターネットもしくは専用振込用紙による振込

<インターネット>

下記 URL もしくは QR コードより
申し込みページにアクセスしてください。
<https://fundexapp.jp/hosei/entry.php>



<専用振込用紙>

「リーディング・ユニバーシティ法政募金」の振込用紙をご利用いただけます。振込用紙の使途番号と使途名に下表からご支援いただける学校をご記入いただき、お振込みください。振込用紙をご入用の場合は、下記お問い合わせ先までご請求ください。

使途番号	使途名	使途番号	使途名
N1	学校指定なし	N4	中学・高等学校
N2	学部・大学院	N5	第二中・高等学校
N3	通信教育部	N6	国際高等学校

<お問い合わせ先>

法政大学 卒業生・後援会連携室募金課

Email: bokin@hosei.ac.jp Tel: 03-3264-9807

② 2020年度予算の主な事業

予算編成方針に基づき、2020年度予算に計上した主な事業は次の通りです。

2020年度予算に計上した主な事業

【重点施策事業】

HOSEIミュージアムの設置・運営事業、オンライン化システム構築事業、研究力強化事業、若手研究者公募研究プロジェクト事業、法政スポーツの強化推進事業 など

【特別事業】

① スーパーグローバル大学創成支援事業
（文部科学省 スーパーグローバル大学（SGU）創成支援事業）
② 建設・修繕事業
（市ヶ谷）ボアソナード・タワー空調設備更新工事（多摩）中央監視装置更新工事（小金井）南館防犯設備更新工事 など

③ 奨学金事業

「開かれた法政21」奨学・奨励金、新・法政大学100周年記念奨学金、全学部SA等奨学金、交換留学生受入れプログラム実施事業 など

④ ICT事業

教育学術情報ネットワーク（net2017）の運用、情報基盤システムの運用、市ヶ谷・多摩・小金井情報教育システム（edu）のリリース など

⑤ 補助金事業

大型設備運営支援 など

⑥ 施設の維持・管理事業

総合管理委託事業（警備・清掃） など

⑦ 広報事業

学生募集に係る入試広報事業 など

⑧ 後援会事業

後援会からの寄付金収入を伴う事業

③ 事業活動収支予算の概要

本学の2020年度事業活動収支予算における事業活動収入、事業活動支出、基本金組入額の構成は図のとおりです。

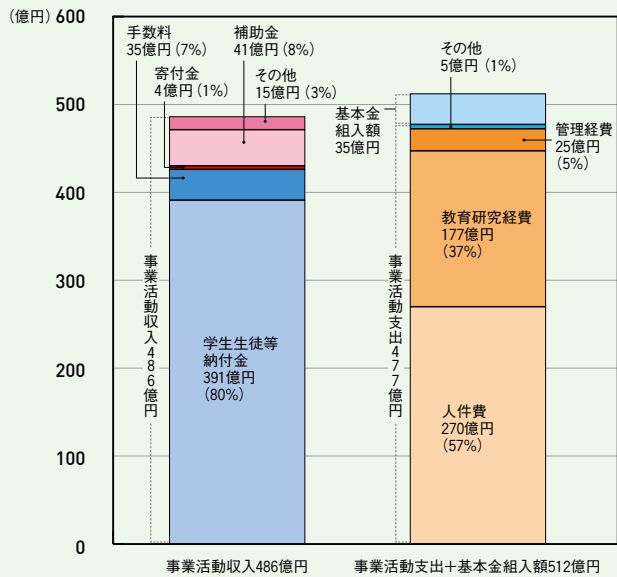
事業活動収入とは、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金など当該年度に帰属する収入のことと、前受金、預り金、借入金など負債となる収入は含みません。事業活動支出とは、当該年度の教育研究活動のための人件費、教育研究経費・管理経費（減価償却額を含む）などの支出のことで、土地・建物・設備・備品など資産として計上する支出は含みません。また、基本金組入額とは、主に当該年度の土地・建物・設備・備品などの固定資産取得相当額および奨学基金への組入相当額です。学校法人は、事業活動収入から基本金組入額を控除した収入額と事業活動支出額について、中長期的に均衡している状態が望ましいとされています。

2020年度予算の事業活動収入は486億円となりました。基本金組入額は、（市ヶ谷）55・58年館建替工事相当額などの組み入れを見込み35億円となりました。

事業活動支出は477億円となりました。内訳としては、人件費は270億円、経費関係は、教育研究経費177億円、管理経費25億円となりました。

これにより、基本金組入前当年度収支差額は9億円の収入超過となります。

図 2020年度事業活動収支予算の構成



なり、ここから基本金組入額を控除した当年度収支差額は27億円の支出超過となりました。翌年度繰越収支差額は494億円の支出超過となる見込みです。

事業活動収入を構成比率でみると、学生生徒等納付金が最も多く、80%を占めています。また、国や地方公共団体からの補助金が8%、入学検定料などの手数料が7%、寄付金が1%となっています。事業活動支出の構成比率では、人件費が最も多く57%で、教育研究経費が37%、管理経費が5%となっています。

（注）左の図や文章中の金額は億円未満を四捨五入しています。そのため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う家計急変、並びにオンライン授業受講環境に関する学生支援事業を実施しています。詳細については、法政大学 HPをご確認ください。

2020年度入試結果について

2020年度入試では、5年連続で10万人を超える志願者を獲得しています。

実志願者数は5万2276人で、大学別順位では2年連続で全国第1位となりました。全学の状況と学部別のデータを示します。

図 私大志願者数データ推移（過去5年間、上位10校）

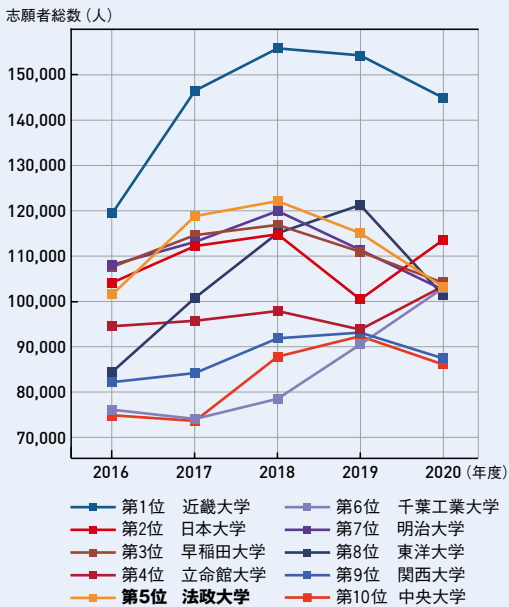
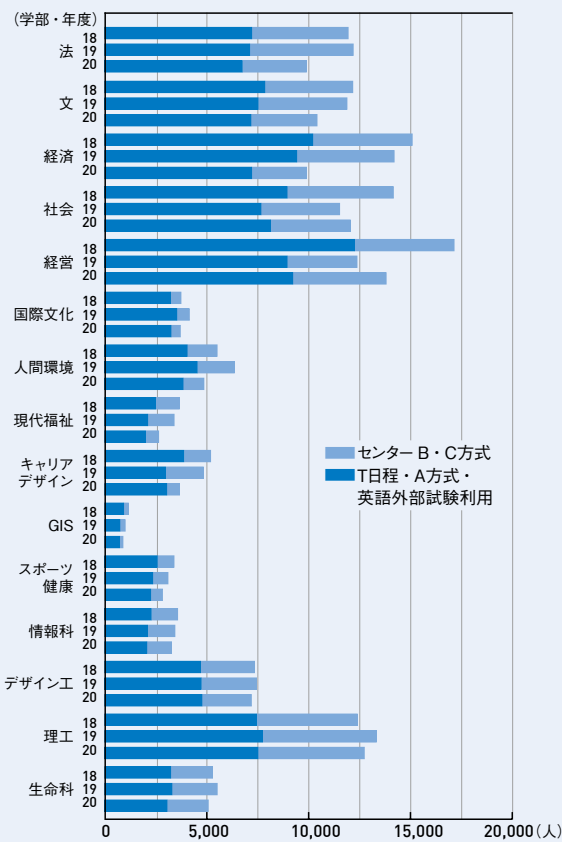


図 2018～2020年度 学部別志願者数推移



※航空操縦学専修の志願者数は理工学部のT日程・A方式・英語外部試験利用に含む



法政大学入試情報サイト

<https://nyushi.hosei.ac.jp>

本学の2020年度一般入試志願者数は、前年度から1万1819人減の10万3628人（前年度比89.8%）で、5年連続10万人を超えたものの、2年連続の減少となり、大学別志願者数ランキングも前年度から二つ順位が下がって全国第5位でした。本学のみならず、首都圏の難関といわれる私立大学のほとんどで志願者数が前年度比90%前後にとどまっており、いわゆる入学定員管理の厳格化に加えて、2021年度入試から新たに大学入学共通テストが始まるなどの入試改革への不安から、受験生の安全志向・地元志向がより一層高まったことが、その要因ではないかといわれています。その一方で、本学の実志願者数5万2276人は前年度から5181人減少したものの、2年連続で全国第1位となりました。

入試方式別で見ても、英語外部試験利用入試で489人増加した以外はすべて減少しており、特に大きく減少したのが大学入試センター試験利用入試B方式（3教科型）で、7322人減って、前年度比77.1%にとどまりました。2019年度入試において倍率や得点率が大きく上昇したために今回敬遠されたと考えられ、他大学でも同様の傾向が見られます。その他の方式では、A方式入試（個別日程）が3422人減、T日程入試（統一日程）が843人減、大学入試センター試験利用入試C方式（5教科6科目型）が709人減でした（他に航空操縦学専修一般入試が12人減）。

学部別でも15学部中13学部で志願者が減っており、そのうち4学部で前年度比80%を下回りました。特に文系学部での減少幅が大きく、法学部が8年ぶりに、経済学部が5年ぶりに、それぞれ1万人を切りました。これまで比較的堅調だった理系学部も、8年ぶりに4学部すべてで減少となりましたが、いずれも前年度比90%以上で、文系学部と比較すると小幅な減少にとどまっています。

都道府県別で見ても、前年度から増えたのは7道県のみで、東京、神奈川、千葉、埼玉の首都圏1都3県も2年連続で志願者が減っています。なお、全体に占める1都3県の割合は73.6%で、12年連続の上昇となりました。

2021年度入試から、一般入試が「一般選抜」に、特別入試・推薦入試が「総合型選抜・学校推薦型選抜」と名称が変わります。また、前述のとおり大学入試センター試験が廃止され、新たに大学入学共通テストが開始されます。



なお、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、総合型選抜や学校推薦型選抜の一部で、出願資格の緩和措置なども行います。入試実施の際には、地域会場も含めて感染防止対策を徹底し、受験生が安心して受験できるよう努めます。

2019年度卒業生の進路状況について

2019年度の本学の就職希望者決定率は98.4%と高い水準になりました。

進路状況と主要企業・団体への就職者推移のデータを示します。

また、2020年度は新型コロナ禍の状況においてもさまざまな対応を進め、引き続き学生に寄り添う支援に取り組んでいきます。

就職環境

2019年度（2020年3月）卒業生の求人倍率は1.83倍となりました。前年比では0.05ポイントの減少ではありますが、一般的に売り手市場といわれる1.6倍超えは6年連続となります。

企業規模別の求人状況については、300人未満の中小企業で8.62倍と高倍率である一方、5000人以上の大企業では、0.42倍となっており、全体的には「売り手市場」であっても、大手企業を志望する学生にとって、厳しい環境であることは例年と変わらない状況でした。

本学の就職状況

このような就職環境の中で、本学学生の就職希望者決定率（就職希望者に占める就職決定者の割合）は98.4%と同規模他私大と比べても高い実績となり、学生たちの健闘がうかがえます。

就職者数の多い企業・団体は次のとおりです。①東京都特別区70人、②りそなホールディングス34人、③日本郵政グループ34人、④JR東日本30人、⑤NEC28人、⑥大和ハウス工業25人、⑦日本航空（JAL）25人、⑧全日本空輸（ANA）23人。

公務員

国家公務員就職者数は90人で、昨年度より23人増加しました。地方公務員においては326人の就職者があり、全体で400人を超えています。

本学では2011年度に「公務

人材育成センター」を立ち上げ、キャンパス内で公務員講座を開講し、受講する学生の試験合格に向けて、きめ細かい指導を行っています。

キャリアアセンターの取り組み

キャリアアセンターでは、年間を通じて個別相談と就職支援行事を実施することで、学生をサポートしています。2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大は、就職活動にも大きな影響を与えています。そのような環境の中でも、学生が就職活動で不利益を被ることがないように、さまざまな対応を進めています。個別相談は、これまで対面のみでしたが、メール、電話、ウェブ（一部キャンパスによる違いあり）による対応を行い、通常時は教室で実施していた行事についても、すべて動画で配信しています。4年生向けに本学学生限定のウェブ合同企業説明会も実施し、例年以上に支援を厚くしています。

7月中旬以降は、全ての学生に進路状況調査を実施し、個別にマッチングの機会も提供していきます。提供可能なサービスは状況によって日々変わります。キャリアアセンターからの情報発信は、主に大学ウェブサイト、LINE公式アカウント（在学生のみ登録可）で行っていますので、そちらをご覧ください。今後も学生に寄り添う支援に取り組めます。



図 主要企業・団体への就職者推移（2017～2019年度）

企業名	2019	2018	2017
清水建設	12	8	7
大成建設	11	5	7
大林組	3	6	2
積水ハウス	12	11	14
大和ハウス工業	25	18	22
サッポロビール	3	3	2
サントリー	3	1	1
山崎製パン	10	6	9
ロッテ	2	2	3
エーザイ	3	4	1
大正製薬	1	5	2
資生堂	2	4	1
NEC	28	11	15
パナソニック	12	8	10
富士通	18	19	21
三菱電機	15	9	13
日立製作所	6	7	6
トヨタ自動車	6	9	7
SUBARU	6	8	5
本田技研工業	13	7	5
キャノン	11	5	6
大日本印刷	13	8	7
凸版印刷	19	6	13
バンダイ	3	4	2
住友商事	0	1	1
三井物産	1	2	1
丸紅	3	1	1
豊田通商	0	4	2
高島屋	3	4	0
セブン-イレブン・ジャパン	7	6	11
みずほフィナンシャルグループ	19	19	47
三井住友銀行	11	18	34

企業名	2019	2018	2017
三菱UFJ銀行	5	21	30
りそなホールディングス	34	30	26
横浜銀行	15	14	11
千葉銀行	15	21	15
大和証券	11	13	12
野村證券	12	22	11
第一生命保険	19	14	13
日本生命	11	13	9
損保ジャパン	4	5	14
三井住友海上火災	13	14	17
JR東海	11	8	6
JR東日本	30	19	25
京浜急行電鉄	1	1	1
日本通運	10	9	7
全日本空輸（ANA）	23	18	17
日本航空（JAL）	25	9	10
NTT東日本	18	14	14
NTTデータ	9	8	1
KDDI	6	8	13
ソフトバンク	16	17	11
読売新聞社	3	2	4
NHK	13	14	14
TBS	1	1	2
集英社	0	1	0
ADKホールディングス	2	2	2
電通	2	1	1
博報堂	1	1	1
オリエンタルランド	7	3	3
JTBグループ	21	25	23
日本郵政グループ	34	27	34
国家公務員	90	67	71
地方公務員	326	296	322

学生相談室を利用してみよう

学生相談室は、学生の皆さんが大学生活を送る上で困りごとや悩みごとに出合ったとき、より良い解決に向けて一緒に考えていくところです。気になることがあれば、どんな相談も受け付けます。気軽に利用してください。

あなたが抱えているモヤモヤした気持ちを聞かせてください。解決の糸口が見つかるまで、繰り返し相談にのります。



まずは、あなたが感じているモヤモヤを話しに来てみませんか。気持ちを吐き出すことで、心の中の重りが、少し軽くなるかもしれませんよ。



どこに相談していいかわからないときは、学生相談室が窓口になります。どうしたら解決できるか一緒に考えましょう。もちろん、秘密は厳守します。相談内容に応じて、他の部署との連携が必要だと思われる場合も、必ず事前に承諾をとるので安心してお話しください。



学生に関することであれば、保護者からの相談も受け付けます。心配ごとがあれば、気軽に学生相談室にお問い合わせください。

友達ができない、居場所が見つからない



周りの人と楽しく会話したいのに、うまくいかない



自分はダメだと感じて気持ちが落ち込んでしまう

大学生活になじめない、やる気が出ない

SNSでトラブルに巻き込まれて、どうしていいかわからない



大学とは直接関係のない悩みで、誰に相談したらいいかわからない

助けてほしいけれど、悩みを誰かに知られるのは恥ずかしい



初めてのオンライン授業や課題に子どもが対応できるか心配...

子どもが全然話をしてくれない



弁護士から無料で法律アドバイスが受けられます

学生を対象に、弁護士が法律相談に応じます。直面しているトラブルに関連する法律上の基礎知識を提供し、問題解決に通じる考え方を助言します。

相談場所：市ヶ谷学生相談室（富士見坂校舎4階）

開催日程などは決まり次第、大学ウェブサイトの学生相談室のページ内でお知らせいたします。



カウンセラーからのメッセージ

夏休みを「心を休ませる時間」に



コロナ禍によって、春学期は学校生活をはじめ生活全般で自粛が求められ、様々なスタートが難しくなりました。初めてのオンライン授業実施では、教職員も学生も皆が緊張感をもって取り組み、このような状況であっても、頑張った結果を出している学生がいて、頼もしく感じました。

しかしこの状況は、多くの学生にとって、本来あるはずの学生生活の喪失をはじめ、多くの辛い体験につながっています。その中には、将来に関わる活動の停止や、経済を支えたり経験値を上げたりする活動の中断、対人問題の悪化など、乗り越え

るために長い時間を必要とするテーマもあります。

そこで夏休みには、一旦立ち止まって心を休ませることをお勧めします。頑張るばかりでは燃え尽きてしまいます。信頼できる人―家族や友人―とコロナ禍での体験を言葉にして伝え合い、整理してみましよう。そうすることで、秋学期に向けて気持ちの準備が始められるのではないかと思います。もし専門的サポートが必要と思われる時には、遠慮なく学生相談室にご相談ください。

（多摩学生相談室 主任心理カウンセラー 唐澤由理）

NOTICE

保護者の皆さまへ

10 代の終わりから20代にかけての大学時代は、社会に出る一歩手前の、さまざまな経験を通じて模索してアイデンティティを確立させる時期です。自分のあり方を思い悩み、いろいろなことを試みては失敗してしまうこともあるでしょう。助けの手を差し伸べようとしても、「手伝いはいらない、放っておいてほしい」と反抗的な態度を取るかもしれません。危なっかしさを感じるでしょうが、自立しようともがっている成長の過程では、当たり前行動です。親の助けを必要とするときだけ手を貸せるように、近すぎず遠すぎずのちょうど良い距離感を保ちながら、おおらかに成長を見守っていく——そんな余裕を持った姿勢でお子さんと接してはいかがでしょうか。

それでも親心として心配でならず、気持ちがやきもきしてしまうときには、どうぞ学生相談室においでください。お子さんに関わるさまざまなお気持ちについて、お聞かせ願えればと思います。



学生相談室を利用するには

学生相談室は、市ヶ谷、多摩、小金井の3キャンパスそれぞれに設置されていて、常駐している心理カウンセラー（臨床心理士）が相談をお受けします。

1回の相談につき40～50分程度の時間を確保して、丁寧にお話を伺います。初回の相談に当たっては、学生相談室にて「学生相談申込票」に記入し、面談申し込み予約をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑みて、当面の間、3キャンパスとも原則、電話相談にて対応しています。今後、状況が変わることがあるので、学生相談室を利用したいときは、事前に大学ウェブサイトの学生相談室ページのチェックをお願いいたします。

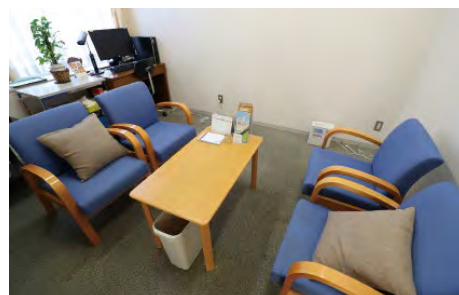


2020年度新任 学部専任教員一覧

今年度、学部専任教員として新たに着任された先生方をご紹介します。

※2020年4月1日現在

学部	学科・専攻	役職	氏名	主な専攻・研究内容
法学部	法律学科	教授	青柳 由香	経済法、国家の競争中立性（国家補助規制等）、独占禁止法と知的財産法の関係
		准教授	上田 知夫	言語哲学、現代ドイツ言語哲学、フランクフルト学派の哲学とプラグマティズムの関係
		准教授	佐野 文彦	刑事法、刑事責任論、刑罰論
文学部	史学科	准教授	大澤 広晃	西洋近現代史、近現代イギリス史、イギリス帝国史
経済学部	経済学科	任期付講師	菊地 和也	政治経済学、ゲーム理論、社会選択理論
		任期付講師	李 址遠	日本語教育学、言語人類学
		助教	松村 隆	マクロ経済学、計量経済学、経済政策
	国際経済学科	任期付准教授	MANISH SHARMA	経済学、コーポレートファイナンス、日本経済
社会学部	社会政策科学科	准教授	谷本 有美子	地方自治、行政学、市民自治
	社会学科	教授	武田 俊輔	文化社会学、都市社会学、地域社会学、メディア論
		専任講師	村上 佳恵	日本語学、日本語教育
経営学部	経営学科	任期付講師	戎谷 梓	グローバルビジネス、国際人的資源管理
	経営戦略学科	任期付教授	THOMAS G POWER	国際コミュニケーション
国際文化学部	国際文化学科	准教授	石森 大知	文化人類学、オセアニア地域研究
人間環境学部	人間環境学科	講師	吉田 秀美	国際開発学、社会開発、ビジネスを通じた貧困削減
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	教授	高良 麻子	ソーシャルワーク論、ソーシャルアクション
	臨床心理学科	助教	根岸 弓	社会福祉学（制度政策、児童福祉領域）
デザイン工学部	建築学科	教授	小堀 哲夫	建築設計、都市デザイン、フィールドワーク
	都市環境デザイン工学科	准教授	山本 佳士	構造工学、コンクリート工学、計算工学、応用力学
	システムデザイン学科	客員准教授	SEONG YOUNG AH	感性メディアデザイン、ユーザーエクスペリエンスデザイン、サービスデザイン
理工学部	経営システム工学科	教授	林 俊介	最適化（特に連続最適化問題のアルゴリズム開発、解析）、ナッシュ均衡、交通均衡
生命科学部	応用植物科学科	教授	大井田 寛	応用昆虫学、昆虫・ダニ類の診断、農林害虫の防除
		講師	黒川 哲治	環境政策論、環境経済学、農業政策論
GIS（グローバル教養学部）	グローバル教養学科	客員准教授	MAY MAY HO	財政学
		助教	MARK BIRTLES	English Language and Applied Linguistics, AI and the authenticity of voice; digital writing



市ヶ谷学生相談室



多摩学生相談室



小金井学生相談室

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、原則、電話相談にて対応しておりますが、必要と判断した場合には、対面相談なども可能です。相談を希望される方は、所属する各キャンパスの学生相談室までご連絡ください。
なお、最新の情報は大学ウェブサイトの学生相談室のページをご覧ください。

URL: <https://www.hosei.ac.jp/gakusei-sodanshitsu/>

■市ヶ谷学生相談室／富士見坂校舎4階

TEL：03-3264-9493

受付時間	月・金 9:30～17:00	火～木 9:30～16:30
心理カウンセラー相談時間	月・金 9:50～18:00	火～木 9:50～16:40

※心理テストを希望者に実施しています。(11:30～12:30は昼休み)

■多摩学生相談室／総合棟(1号館)2階

TEL：042-783-2158

受付時間	月～金 9:30～16:30
心理カウンセラー相談時間	月～金 10:00～16:30

※休職中の開室日時は別途掲示します。(11:30～12:30は昼休み)
※心理テストを希望者に実施しています。

■小金井学生相談室／管理棟4階

TEL：042-387-6050

受付時間	月～金 9:30～16:30
心理カウンセラー相談時間	月～金 10:00～16:40

※休職中の開室日時は別途掲示します。(11:30～12:30は昼休み)
※心理テストを希望者に実施しています。
※グループ活動の企画を実施しています。別途ウェブサイトなどに掲示します。

SUPPORT

障がいのある 学生の支援について

本 学では「法政大学ダイバーシティ宣言」にのっとり、多様性を受容して、立場の違う相手の生き方や考え方に耳を傾け、理解を深め合うことを目標として掲げています。この理念に従い、障がいのある学生でも、障がいのない学生と同等に学べる環境の実現を目指して、支援の基本方針を定めています。

修学上の困難が予想される学生に対しては、障がい学生支援コーディネーターが、どのような支援が必要なのか、本人からニーズを聞き取りながら支援プログラムを作成します。また、必要に応じて学生相談室と連携を取りながら支援に当たります。

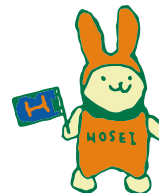
障がい学生支援室では、サポートスタッフの確保や育成、各種講座やイベントの開催を通じて、障がい学生支援への理解を促す活動も進めています。

法政大学はダイバーシティ宣言の理念に従い、2018年4月、障がいのある学生を全学的に支援するために「障がいのある学生支援の基本方針」を制定しました。

学生サポートスタッフが 活動しています

障がいのある学生をサポートする学生サポートスタッフは、ノートテイクをはじめとした支援活動を行っています。ノートテイクとは、聴覚障がいのある学生の耳になり、講義内容を聞きながら、意味を要約し、文字にして伝える支援です。

▶▶「障がいのある学生支援の基本方針」 について詳しくはこちらから



▶▶障がい学生支援室 問い合わせ先

- 市ヶ谷（外濠校舎1階）TEL：03-3264-6718
- 多摩（総合棟2階）TEL：042-783-4038
- 小金井（管理棟2階）TEL：042-387-4556



HOSEI
Graduate Interview
卒業生
インタビュー

野球は人生を豊かにする最高級な遊び それを次世代に伝えるのが私の使命

一般財団法人全日本野球協会 会長、日本野球協議会侍ジャパン強化本部 本部長、
アジア野球連盟 副会長 **山中 正竹さん**

東京六大学野球で、投手として、今後も破られないといわれる48勝の記録を残し、卒業後も選手、監督として国内外の大会で数々の優勝やメダルを手にした山中正竹さん。野球からは多くのことを学べる、それを次の世代に伝えていくには、まず指導者側の変化が必要だと言います。

このページでは、法政大学憲章の「自由を生き抜く実践知」を体現している本学の卒業生を紹介していきます。

スポーツマンシップの徹底で
持続可能な野球文化を普及

日本の「精神野球」で育った私にとって、40歳前後で初めて世界のプレーや練習に触れたときは、まさに「目からうろこが落ちる」思いでした。そこから私の野球人生の第2ステージが始まり、日本野球の国際化に努めてきました。

現在、会長を務めている全日本野球協会は、国内のアマチュア野球を代表する団体で、オリンピックや国際大会の日本代表「侍ジャパン」（プロを含むトップ、社会人、大学、女子など全カテゴリー）の窓口となっています。また、少子化やスポーツの選択肢の多様化を背景にした「野球離れ」に歯止めを掛けるため、「持続可能な野球文化」の普及にも取り組んでいます。

本来スポーツとは、ルールを守って正々堂々と戦うことを通じて、相手を尊重する心やマナーを学び、向上心や人間力を高めていくもの。授業や訓練



1992年バルセロナ五輪で銅メダルを獲得し、選手に胴上げされる山中さん

としてではなく、自主的に参加する「遊び」だからこそ、真剣になれるし、得るものも多いのです。

ところが、野球界には戦前からの勝利至上主義や上意下達の風潮が残っています。そこで、まずは指導者にスポーツマンシップを正しく理解してもらい、未来を担う子どもたちに野球の面白さを伝えていくことが大事だと考えています。同時に、頂点にいた「野球人」には、野球の価値や魅力を自身自身の言葉で発信してほしいです。

大学野球の記録や実績は今も自分の誇り

子どもの頃は、野球といえば東京六大学という時代で、「一度でいいから神宮球場で投げてみたい」という思いで法政大学に入りました。

48勝の記録（現在も歴代最多）とともに私の誇りとなっているのが、1年の秋から4年秋の引退まで、各カード初戦の登板を継続できたことです。こうした数字や実績は、卒業後に自分の

励みとなり、指導者や日本代表監督に就くチャンスに結び付くなど、私の人生に大いに役立っています。

また、授業後にクラスメートの下宿先でたわいもない話に興じたり、試験の情報交換をしたりと、野球部員の中では一番キャンパスライフを楽しんだと思います。

数年プレーした後は企業の戦力になろうと考えて、住友金属に就職しましたが、2年目に大学時代の松永怜一監督がチームの監督となったこともあり、結局30歳まで野球を続けました。その後4年間仕事をして、社会の仕組みが一通り飲み込めた頃に、「野球部の監督か、サウジアラビアのパイプ工場の管理者か」という選択を迫られまして。それ以来、日本代表、大学、プロを渡り歩き、野球界では異色の経歴の持ち主となりました。

リーダーに必要なのは自らを高めていく姿勢

野球の指導者を経験して、スポーツとは何かに加えて、リーダーシップについても考えるようになりました。

サッカーの元フランス代表監督ロジェ・ルメール氏が「学びをやめたときは、教えることをやめなければならぬ」と言ったように、指導者は絶えず勉強を続けていかなければなりません。

ん。「付いてこい」と引つ張るのでは

なく、自分が高める努力をしている姿を見せていけば、選手の方が何かを感じ、付いてくる。そういうチームには、間違いなく信頼感が生まれます。

大学生には考える力が十分にあり、もはや「これをしなさい」と指示を出す、大きな声で返事をするという段階ではありません。監督の役目は、選手に問われたら答えられるよう準備し、選手が迷っているときにヒントを与えることです。ですから、私は「教え子」という言葉を使いません。むしろ、私が学生から教えてもらったことの方が多くいくらいですから。

**スポーツが与えてくれる
際限のない学び**

常日頃「野球は考えるスポーツ」と言っていますが、これは大学時代に学んだことです。今のような高度なデータ分析がない時代で、松永監督から「練習に出なくていいから、次のカードで対戦する早稲田の試合を見てきなさい」と言われ、ネット裏で各選手の攻略法を研究しました。

思いどおりの球を投げるにはコントロールの正確性が必要、それにはどういうフォームで投げるか、どうやって体をつくっていくかと、一つ解決すれば次の課題が浮かび上がる。こうして



大学時代の山中さん。六大学野球で選手時代に3回、監督時代に7回優勝を経験



Yamanaka Masatake

1947年大分県生まれ。1970年に経済学部経済学科を卒業後、住友金属工業（現日本製鉄）に入社。社会人野球の選手、監督を経て、1988年ソウル五輪で野球日本代表コーチ、1992年バルセロナ五輪で野球日本代表監督を務める。1994～2002年度、本学の野球部監督、工学部教授。2003～2010年、株式会社横浜ベイスターズ専務取締役。2010～2014年度、本学特任教授。2016年、野球殿堂特別表彰。

際限なく学びを与えてくれるのが野球の魅力であり、これを次の世代に伝えるのが私の使命だと考えています。
2000年以降、法政も含めて「スポーツ」を冠した学部や学科が増え、国もスポーツの市場規模を2025年までに15兆円に拡大するという目標を掲げるなど、スポーツの多様な価値が広く認められるようになりました。
大学でスポーツに打ち込んだ学生、スポーツを学んだ学生には、プレーヤー以外にもマネジメント、ジャーナリスト、トレーナー、用具メーカーなど多様な選択肢があります。ぜひスポーツから多くのことを学び、それを卒業後の人生に生かしてください。



ゼミ生とチームで挑む ソーシャルメディア研究

社会学部メディア社会学科 教授 藤代 裕之



避けては通れない
フェイクニュース問題

TwitterやFacebookといったソーシャルメディアの研究をしています。今や生活に欠かせないソーシャルメディアですが、便利さの裏側でその情報、いわゆるフェイクニュースが問題となっています。

世界で猛威を振るう新型コロナウイルスに関する「ウイルスは熱に弱いので、26〜27℃のお湯を飲むと良い」や、熊本地震時の「ライオンが逃げた」、などを聞いたことがあると思います。これらフェイクニュースは世界で問題になっており、ソーシャルメディア研究では避けては通れません。

しかしながら、フェイクニュースの解明はなかなか難しいのです。まず、うそ

を見抜いて事実を確認するのが大変です。さらに世界で事情が異なるのも課題です。フェイクニュースと聞くと、米国のドナルド・トランプ大統領に関する政治的な話題と考える人も多いかもしれませんが、東南アジアでは芸能人、国内では災害や健康に関してといったように、その国や地域の関心の高い話題で発生するために、関連する研究も異なってくるのです。

他に先駆けて
国内の状況を解明

さらに深刻な問題は、ロシアなどの国がフェイクニュースを「武器」として利用し、選挙への介入や世論操作を行っていることです。

「プロパガンダとか、スパイ映画の世界じゃあるまいし」と思っていたのですが、研究調査で訪れたフィンランドやバ

ルト3国のリトアニアの危機意識は高く、民主主義社会に対する脅威として対策が進んでいます。アジアでも、大規模な抗議デモが起きた香港で、情報操作を行っている中国政府とつながりのある投稿をFacebookとTwitterが削除しました。

私の研究室では、他に先駆けて国内の状況について論文を書いたり、学会で発表したりしてきました。新聞記者らの協力を得て、2017年の衆議院議員選挙と2018年の沖縄県知事選挙に関するデータを分析し、フェイクニュースを拡散するニュースサイトの構造を明らかにしました。今のところ、他国のプロパガンダのような深刻な状況は観測されていませんが、危機感を持ちながら研究を続けて、実態を明らかにしていくことが重要だと考えています。

ゼミ生とのチーム戦で
研究を進める

先ほどフェイクニュースの解明は難しいという話をしましたが、それを乗り越えるのに必要なのがゼミ生の協力です。法政大学社会学部はゼミ活動に力を入れており、2年生から希望する教員のゼミで研究や実践活動を行います。

ゼミ生たちは、ソーシャルメディアのデータを収集したり、怪しい書き込みがないか目視で確認したり、フェイクニュースを見た人にインタビューを行ったり、いろいろな役割を分担してくれています。プログラミングでのデータ収集など、教員が苦手なこともサポートしてくれます。

沖縄県知事選挙に関して、地元新聞社が行ったフェイクニュース対策の影響を調査しているゼミ生は、一時カナダに留学していました。その間も、共同研究者がいるアメリカと日本の3カ国をインターネット会議でつなぎながら研究を進め、国際学会での発表を実現しました。データ整理は、他のゼミ生がサポートして助け合うなど、チームで研究を進めています。

大学の研究は
将来役立つのか？

このようなゼミ活動を支えているのが、

大学の教育や設備です。社会学部では、国内の大学で初めてGoogle^{*}の世界的网络ワークに加入し、フェイクニュースを見抜く技術を学ぶ機会を提供しています。また、メディア社会学科ではプログラミングの学習を推奨しています。研究について議論するためにキャンパス内の宿泊施設に泊まり込むこともあります。

バイトやサークルに忙しいという大学生のイメージと、ずいぶん違うという方もいるかもしれません。世の中には大学の研究は役に立たないという意見もありますが、研究は論理的な思考を養い、粘り強く取り組む力を養うことに適しています。

学生と話をすると、「何者かになりたい」という気持ちを持ちながら、漠然とした将来への不安を抱えているのを感じます。保護者の皆さんも、「将来はどうなるのだろう」と心配しているかもしれない。私自身も「何者か」が長らく分かりませんでした。大学では哲学を学び、徳島にUターンして新聞記者になり、事件取材に明け暮れていました。

ゼミ生とともに
新たなメディア社会の創造へ

2000年代に入り、ソーシャルメディアが広がっていく中でメディア環境が大きく変わり始めました。マスメディ

アだけでなく、誰もが発信できる社会とはどうなるのか強い興味を持ちました。そこで、NTTグループに転職してインターネットニュースの編集や研究開発を担当し、気付いたら研究者になっていました。タイムマシンで大学時代の自分に「将来は大学の先生だぞ」と言ったなら、それこそフェイクニュース呼ばわりされることでしょう。

振り返ってみれば、新聞記者も、研究者も、新しい発見をして社会に伝えるという共通項があります。大学時代に学んだ哲学は、その知的発見の出発点でした。ゼミ生も、必ずしもメディアに関連する仕事に就くわけではありませんが、学会発表や論文の執筆という困難と向き合うことで、自分の中にある興味・関心を発見していきます。自らの可能性を信じられるようになれば、卒業です。

今は、フェイクニュースのような負の側面が話題になっていますが、ソーシャルメディアは、多様な情報発信や利便性の高いサービスが登場するなど、可能性を秘めたツールです。「未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ」（アラン・ケイ）という言葉があります。負の側面を乗り越え、都市と地方をつなぐメディアづくりやより良いコミュニケーションを生むサービス開発など、ゼミ生たちと新たなメディア社会の創造に取り組んでいきたいと思っています。

^{*}Google News Labが世界で展開している「Google News Initiative University Network」に国内で初めて法政大学社会学部が加入しました。



Fujishiro Hiroyuki

1973年徳島県生まれ。広島大学文学部哲学科卒業、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科前期課程修了。徳島新聞社の記者を経て、NTTレゾナントでニュース編集や新サービス開発を担当。2013年4月本学に着任、2019年より大学院メディア環境設計研究所所長。著書に「ネットメディア覇権戦争 偽ニュースはなぜ生まれたか」（光文社）、編著書に「ソーシャルメディア論」（青弓社）など。ゼミ生らと制作した「地域ではたらく「風の人」という新しい選択」（ハーベスト出版）は、第29回地方出版文化功労賞と島根本大賞2016をダブル受賞した。



研究会で、沖縄に関するフェイクニュース調査の結果を発表するゼミ生

物語構造に着目して 情報を探し出すくみを構築

「知識を活用したい」という思いから、データベース管理を研究している赤石美奈教授。
図式を用いて、文章に含まれる言葉の関連性を整理するなど、創意工夫に満ちた研究を展開しています。

情報科学部コンピュータ科学科 教授 赤石 美奈



キーワードにできない情報を
どうやって検索するか

大量のデータを管理して必要な情報を探し出す、データベース処理に携わる研究が続いています。

一般的なデータ検索はキーワードを入力して行います。しかし未知の事象や抽象的な言葉など、キーワードにづらい情報はどのようにして検索すればよいのでしょうか。その疑問が、私の研究の源泉です。

大前提として、コンピュータは人間が書いた文章の意味を理解できません。人間は、童話と取扱説明書の違いを認識できますが、コンピュータにとっては単なる文字情報の羅列です。そんなコンピュータに自動処理させるには、文章内の情報を機械的に類型化するルールが必要で、そこに着目したのが「物語構造」です。

物語の構造をシンプルに分析すると、最小要素はキャラクター（登場人物）です。要素が集まるごとにイベント（出来事）、シーン（場面）、ストーリー（物語）が構成されます。最終的に、複数の物語がまとまって「神話の世界」などのワールドモデル（世界観）ができあがります。この構造になぞらえて文章を分解することで、あらゆる文献を類型化するルールを作れる

のではないかと考えたのです。

ポイントは、文中の「言葉」をキャラクターと見なし、一つの文章をイベントと見なすことです。その上で、文章で使われる言葉の関連性を図式化すれば、キャラクター相関図のように、一つ一つの言葉がどのように関係し合っているのが明らかになります。

図式化すると文章の分解や再編成もしやすくなるため、特定の言葉にひも付けられた言葉だけを抽出するなど、柔軟な操作も可能になります。

例えば図1は、1550～1650年の100年の史実を図式化し、織田信長に関連する贈答の記録を抽出したものです。贈答の記録を追うことで、当時は誰が重用されていたのかわかりになり、勢力関係が浮かび上がります。この手法の有用性を高めるべく、検証を繰り返しながら、研究を深めていきたいと考えています。

文理の垣根を越えて
知識を活用する術を探究

これまで、人工知能（AI）を活用してコンピュータに小説を書かせるプロジェクトに参加するなど、さまざまな分野をまたいで研究を展開してきました。題材としたテキストの種類も、ギリシャ神話などの文学作品から日本史、ニュース記事、人工衛星の設計議

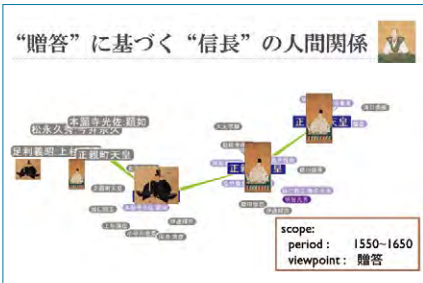
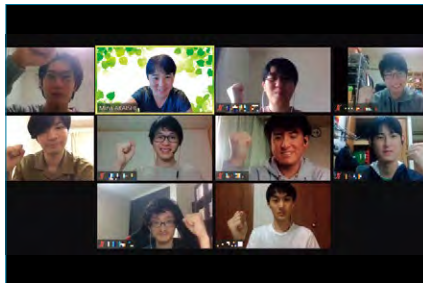


図1「贈答」に基づく織田信長と歴代天皇の人間関係。織田信長に関連する「贈答」に関する記録を抽出すると、当時の人間関係が浮かび上がる



データ解析の参考資料として集めたテキスト群。1000編を超える星新一全作品集から、歴史を記した史料まで、多様な文献が並ぶ



新型コロナウイルス感染予防でキャンパス入構が制限されている間は、オンライン授業を展開。学生と外出自粛の日々を乗り越えようという意気込みを語り合った

事録まで、多岐にわたります。理系学部で情報処理に従事しながらも、数値データよりテキスト情報を扱っている方が多いかもしれません。

文系と理系はそれぞれ異なる世界観を持っていますが、お互いが歩み寄って融合することで、刺激的な化学変化を生み出します。せっかく15もの学部を有する法政大学に在るのだから、他のキャンパスの教員や学生と協力し合った研究もしてみたいですね。文理をつなぐ橋渡し役として、一端を担えるのではないかと期待しています。

研究を通じて、数々の知識を有効活用したい。その思いの集大成として、いくつかミュージアムのシステムづくりに携わり、文化方面でも研究を役立てたいと考えています。

例えば、興味のおもむくままに順路を自由に選べたり、「次はこれを見たいかがですか」とガイド表示してくれるような、ダイナミックな展示システムが実現できたら、新感覚のミュージアムになると思います。そうやって能動的に楽しめる工夫を施すことで、知識を享受する喜びも増すのではないかと、思いをはせています。

研究と教育を一体として
人と社会の未来をつくる

情報科学部の先生方は、意思決定の

Akaishi Mina

北海道大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程修了。博士（工学）。静岡大学情報学部助手、北海道大学工学部助手、東京大学先端科学技術研究センター助教、准教授、同大学史料編纂所准教授、同大学院工学系研究科准教授などを経て、2012年に法政大学情報科学部教授に着任。現在に至る。



THE SCENE

大学有数の歴史と実力を誇る、法政大学体育会。
そんな伝統ある40体育会が日々活動しているワンシーンを、迫力あるカラーグラビアで紹介しします。



卓球部

撮影場所：所沢市民体育館（埼玉県）
撮 影：片山和貴（スポーツ法政新聞会）
集合写真：卓球部提供

卓球部は、1938(昭和13)年に創立。普段は、市ヶ谷総合体育館4階の卓球場で練習しています。現在は、関東学生卓球連盟の1部リーグに在籍しています。2019年度は「関東学生新人選手権大会」の男子シングルスで優勝を飾り、「関東学生卓球選手権大会」の男子シングルスでは5人がベスト16にランクイン。「第89回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部」では、3年連続となるベスト8入りを果たしました。2020年度は個人戦、団体戦ともに、2019年度以上の成績を目標に掲げ、法政大学体育会の一員として大学スポーツをリードしていけるように日々精進します。

Message

「自由な学風」の下で、自ら考え、
行動する学生の声をお届けます。

アメフトから学んだ 「挑戦すること」の大切さ

経営学部経営学科4年

Iwamatsu Yumeno

岩松 夢乃 さん

私とアメリカンフットボール（以下、アメフト）との出会いは幼稚園の頃だと思っています。父が経験者だったこともあり、週末は父に連れられてアメフトの試合観戦をしていた記憶があります。

小学生になると、法政二高のアメフト部で活躍していた兄に影響を受け、同部のマネージャーになりたいたと思うようになりました。しかし、私が高校受験を迎えた当時の法政二高は男子校であり、その思いは大学でかなえようと決めました。

大学生となりアメフト部へ入部してみたら、スタッフにも多くの役割があることを知り、非常に驚きました。チーム運営をサポートするマネージャー、トレーニングや怪我予防をサポートするトレーナー、情報発信を中心に活躍するマーケティングチーム、そして戦術面をサポートするSA（スチューデントアシスタント）です。

私は、それほどアメフトに詳しくないにもかかわらずSAを志望していました。マネージャーへの思いはいつしか消え、戦術面を担うことに興味を抱くとともに、何より新しい世界に飛び込むことへの期待があったと思います。



SAとなり大学3年を迎えた際、法政二高アメフト部の守備コーディネーター（守備コーチの責任者）への打診をいただきました。競技未経験かつ女性としては初ということで、選手や保護者の方々から不安の声が挙がることも覚悟していましたが、努力すればできないことはないという気持ちで勝利、挑戦することにしました。

多くの方に支えられ、素晴らしい選手たちにも恵まれた結果、目標にこそ届かなかったものの2019年度関東大会準優勝という近年にない素晴らしい成績を残すことができました。そして同時に多くの失敗も経験することができ

ました。

自分の限界を決めつけず、挑戦するからこそ学べることもある。これは私がアメフトを通じて得た最も大きな学びです。「未経験だから」「苦手だから」と思ってしまうこともありましたが、私は、どこにでも自分に合った役割が必ずあると考えています。

アメフトは、選手だけでなくスタッフの役割もさまざま、充実しています。チームは、選手とスタッフ全員の力があってこそ日本一という目標を掲げることが出来ます。文面では伝えきれないほど奥深く、魅力の多いスポーツです。ぜひ会場でアメフトをご覧ください!!



後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです

2020年度後援会会長 就任あいさつ



法政大学後援会会長 清水伸行

皆さまには、平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、後援会総会は通常の形式ではなく、書面での決議となり、皆さまにご負担とご迷惑をお掛けいたしました。この決議により、2020年度会長に推挙され、1年間皆さまと共に学生と大学の支援のお手伝いをさせていただくこととなりました。

法政大学後援会は、1947年に「大学の教育方針にのっとり、大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、併せて会員相互の親睦を図る」ことを目的に、保護者自ら立ち上げた組織です。現在では、首都圏および北海道から沖縄県までの全国36支部に父母・保護者の会員約2万8000人を有する組織となりました。

後援会の事業として「新入生父母の集い」や「父母懇談会」などが予定されておりましたが、コロナ禍において会員の皆さまの安全を考慮

し、これらを自粛・中止とさせていただきます。秋以降の行事などにつきましては、後援会ウェブサイトなどに情報を掲載してまいりますので、ご確認いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

後援会では、これまでと同様の学生支援に加え、新型コロナウイルスの影響で経済的にひっ迫している学生にも、大学と協議をしながら連携・協力を図って支援をしていきたいと思っています。

今年は、72年の歴史の中でも、非常に厳しい状況にあると認識しております。伝統ある後援会を継続し、学生・大学を応援するために、諸先輩方が築き、守り続けてきた理念をしっかりと受け継ぎながら、会員の皆さまと乗り越えて行く所存でございます。

「学生にとって安心できる大学」となるよう、活動し、支援してまいります。会員の皆さまには、より一層の後援会活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

会長退任あいさつ



2019年度会長 渡辺康太

平素より、皆さまには後援会活動に対してご理解ならびにご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、コロナ禍における国内での移動制限も解除され、徐々に以前の日常生活を取り戻しつつありますが、感染の不安とともに新しい生活様式に戸惑いつつ、いまだ落ち着かない日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。

まずは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、安全面を考慮し、学生、保護者の皆さまにとって重要な式典である学位授与式および入学式の開催が中止となったことに遺憾の意を表します。

会長在任中を振り返ると、就任当初の5月は「令和」幕明けの祝賀ムードもありましたが、秋の台風19号による小金井キャンパスの首都圏父母懇談会の中止、2020年3月から10月までの後援会事業活動の中止、幹事会・定時総会の書面決議への変更と、生命の安全を確保するために難しい判断を迫られたことが強く印象に残っています。苦渋の決断ではありましたが、任期を全うできたのも共に運営に当たってくれた4人の副会長、7人の総務の計11人の運営委員をはじめ、協力・支援してくださった会員の皆さま、事務局ならびに関係者の皆さまの尽力のおかげであり、この場を借りて感謝申し上げます。

写真で見る渡辺会長の1年間



- 1 2019年6月1日（土）2019年度総会、小澤徳前会長から禪（たすき）を受ける
- 2 2019年6月1日（土）大学との懇親会、田中優子総長と
- 3 2019年7月6日（土）鳥取・島根県支部総会
- 4 2019年9月7日（土）常任幹事会
- 5 2019年11月9日（土）支部長懇談会
- 6 2019年11月27日（水）大学との懇談会
- 7 2019年11月30日（土）陸上競技部創部百周年記念式典
- 8 2020年1月11日（土）運営会議
- 9 2020年1月11日（土）賀詞交歓会
- 10 2020年1月25日（土）公認会計士試験合格者祝賀会
- 11 2020年1月26日（日）オール法政新年を祝う会

2020年度 法政大学後援会の主な年間行事

月日	曜日	行事	内容
4月3日	金	入学式 ※中止	大学行事、両国国技館にて開催。後援会会長が後援会の活動について説明
5月16日	土	幹事会 ※書面決議で実施	後援会の役員会。決算報告、予算案等を審議
5月30日	土	支部長会議 ※中止	後援会事業と支部総会・父母懇談会について打ち合わせ
		総会 ※書面決議で実施	事業報告・決算報告、予算案、2020年度役員を審議決定
		懇親会 ※中止	大学主催の懇親会
8月31日	月	支部総会 ※電子決議で実施 父母懇談会 ※中止	例年7・8月に全国36支部、各会場で開催。今年度の支部総会は、8月31日に決議（全支部共通）
9月	(日程未定)	校友会との懇談会	大学発展のために、校友会と後援会が年1回行う懇談会
10月4日	日	首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス) ※中止	例年、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の会員を対象にキャンパスごとに開催。講演、キャンパスツアー、個別相談、学生サークルの紹介等が行われる(多摩キャンパスは多摩祭と同日開催)
10月11日	日	首都圏父母懇談会(小金井キャンパス) ※中止	
10月17日	土	首都圏父母懇談会(多摩キャンパス) ※中止	
11月14日	土	支部長会議(支部長懇談会)	支部活動の報告と意見交換
		副学長・学部長・学生センター長・後援会懇談会	支部の父母懇談会で会員から寄せられた質問等に副学長・学部長・学生センター長が回答
11月15日	日	支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告、活動の情報交換
11月25日	水	総長・学内理事との懇談会	総長・学内理事と後援会運営委員が会談
1月9日	土	オール法政賀詞交歓会	総長をはじめとする法政関係者が集う新年会
3月6日	土	幹事会	後援会の役員会。次年度暫定予算などを審議
		後援会賞表彰	難関試験を突破した学生、学術・スポーツ分野において優れた成績を収めた学生、国際交流に尽くした外国人留学生を表彰
3月24日	水	学位授与式	大学行事(会場未定)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより変更になる場合があります。

2020年度後援会総会書面表決結果報告

- 開催・決議日：2020年5月30日
 - 書面表決受付期間：2020年5月20日より同年5月27日事務局書面表決はがき到着分まで
 - 対象会員数（2020年5月1日現在）：2万7605人
 - 議決権行使数：1156（書面表決はがきの提出のない場合、議長に一任として取り扱い）
 - 議決結果
- 第1号議案 「賛成」1135 「反対」4 「無効」17
- (1)2019年度主な事業報告(案)
- (2)2019年度後援会関係行事
- (3)2019年度決算書(案)、監査書
- 第2号議案 「賛成」1133 「反対」6 「無効」17
- 2020年度(暫定版)予算書(案)
- 第3号議案 「賛成」1130 「反対」5 「無効」21
- 2020年度後援会本部役員候補者
- 第1号議案、第2号議案、第3号議案とも、行使された議決権の半数を上回り、承認されました。

2020年度 収支予算書＜暫定＞（2020年4月1日～2021年3月31日）

【収入の部】		【支出の部】	
(単位：円)		(単位：円)	
科目（款）	2020年度予算額	科目（款）	2020年度予算額
1.一般収入	231,622,000	1.自然災害等被災学生のための学生支援費	20,000,000
2.雑収入	2,507,000	2.学生支援費	98,693,000
3.積立金・引当資産からの繰入	25,000,000	3.会員情報費	29,899,000
4.預り金収入	0	4.会員行事費	42,894,000
当年度収入合計(A)	259,129,000	5.役員活動費	11,256,000
前年度繰越金	79,582,000	6.企画運営費	25,549,000
収入合計(B)	338,711,000	7.人件費	11,997,000
		8.学生支援積立金	30,000,000
		9.後援会積立金	0
		10.引当資産	1,000,000
		11.未払金支払	33,000
		12.前払金	0
		13.予備費	5,000,000
		14.期末未払金	0
		15.前期末前払金支払	0
		16.預り金支払	93,000
		当年度支出合計(C)	276,414,000
		当年度収支差額(A)-(C)	△17,285,000
		次年度繰越金(B)-(C)	62,297,000
		支出合計(D)	338,711,000

■後援会ウェブサイトのご案内

https://www.hosei-koenkai.org/

法政大学後援会

検索

臨時総会開催について

9月～11月開催の方向で調整しております臨時総会にて、例年の総会議案「事業計画案（2020年度）」、および「予算案（2020年度）」「本部役員候補者案（2020年度 補充）」の審議を行います。開催日、議案書公開、表決方法等詳細は、後援会ウェブサイトにて随時ご案内、更新いたしますので、後援会ウェブサイトをご覧くださいませようお願いいたします。

2020年度 後援会役員

会長	清水 伸行						
副会長	磯崎 恵美子	小林 淳	廣島 映一	吉川 信宏			
総務	相澤 さえ子	石井 亘	諏訪部 真理	友利 方彦	西山 広二郎	鯨岡 光男	松崎 浩司
常任幹事							
4年	朝倉 賢司	伊藤 晴通	金子 裕子	國松 孝公	西尾 雅恵	平塚 則吉	
3年	熱田 夏子	石川 英一	大笹 勝典	春日井 恵	原岡 麗子	横山 久美子	
2年	浅見 佐亨	市瀬 恵美子	井上 宏	島村 孝子	滝沢 かおり	細井 圭一	
幹事							
4年	相川 毅	伊勢 和房	遠藤 澄江	古賀 ゆかり	田口 奈保子	中村 健太郎	永野 櫻子
	新美 優子	松下 功一	吉田 勇二				
3年	岡島 健	小林 敏和	小宮 美知代	島田 昌彦	清水 由美	西尾 純子	宮原 富士雄
	宮本 幸枝	我妻 麻子					
2年	石原 康弘	岩佐 大秀	蛭原 典子	小中 道子	杉山 美佐和	添田 一恵	玉井 裕子
	仲間 ルリ子	中村 章子	長谷川 裕美子	畑島 久美子	棚木 久美子	松尾 奈穂子	
監査	志田 ひろみ	向井 知子					

※臨時総会にて追加役員選出予定

2020年度
法政大学後援会
運営委員

右写真：前列左から磯崎恵美子副会長、吉川信宏副会長、清水伸行会長、廣島映一副会長、相澤さえ子総務
後列左から石井亘総務、諏訪部真理総務、西山広二郎総務、友利方彦総務、鯨岡光男総務、松崎浩司総務
左上写真：小林淳副会長



2020年度父母懇談会中止に伴う会員向け代替企画のご案内

本誌4月号、後援会ウェブサイト等にてご案内のとおり、例年、支部では7・8月、首都圏では10月に開催の父母懇談会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度は開催中止といたしました。

例年の父母懇談会で、会員の皆さまにご聴講、ご参加いただいておりますプログラム、大学教職員による「履修成績通知書の見方」「就職状況」等に関する説明、および「就活個別相談」等を今年度はオンライン（Web・電話）にて公開・実施予定です。

■「履修成績通知書の見方」「就職状況」等に関する説明（資料・動画） 8月11日公開予定

■Web（Zoom）・電話による就活個別相談（対象：3年生以上）
＜支部会員の皆さま＞
申込方法等詳細は、8月上旬に郵送の支部総会電子表決の通知書に同封の書類にてご確認ください。
＜首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）会員の皆さま＞
本誌次号（10月号）「後援会だより」ページにてご案内します。

校友会だより

一般社団法人法政大学校友会(以下、校友会)は、「法政ネットワーク」強化により校友憲章に謳っている「価値の創生・共創」を基本理念に、大学、後援会と手を携えて三位一体で諸事業を推進してまいります。

海外団体一覧

法政大学チャイナ校友会
ニューヨーク校友会
サンフランシスコ支部
英国校友会
サイゴン校友会
シンガポール校友会
ドイツ校友会
ベルギー校友会
社団法人日本法政大学台湾校友会
フランス校友会
韓国校友会
法政大学ロサンゼルス校友会
法政大学ハノイオレンジ会
法政大学アジア賢友校友会
法政大学HAWAII法友会
法政大学タイ・バンコク校友会
法政大学フィリピン校友会

法政大学校友会の海外団体(支部)は、2002年に誕生した法政大学チャイナ校友会から、今年1月設立のフィリピン校友会まで13カ国17拠点到及んでいます。国内・海外在住の校友は、オール法政ネットワークを構成するメンバーであり、全ての校友が主役です。

現地で活躍する卒業生、学生や本学関係者の絆を深める海外支部の活動は、校友会ウェブサイトや校友会報「オレンジジャーナル」で紹介しています。再興した法政大学チャイナ校友会は、現在、中国国内に4支部、会員200人を有する海外最大級の支部です。設立時、北京エリアの事務局長楠本路子さんが再興の経緯を語ってくださいました(以下は抜粋・編集、全文は校友会ウェブサイトに掲載)。

海外にウイングを広げる法政大学校友会 第一号「法政チャイナ」再興の経緯

「私は国際結婚をして、98年から河北省に住んでいました。中国語は全く話せず、まだインターネットでも見られる時代でもなく、言いようのない疎外感を味わう毎日でした。そんな中、ある月刊誌に『明治大学の校友会が設立』という記事を見つけました。法政大学に国際電話で問い合わせたところ、『現在中国に校友会がない』と言われ、ひどくがっかりしました。ほどなく、校友連合会(現校友会)の中野忠副理事から『ぜひ校友会を再興して』と励ましの連絡を何度もいただき、元気が湧いてきました。

北京の雑誌に『法政大学の校友を探しています』と掲載して2、3カ月後にメールや電話が寄せられ、涙が出るほど嬉しかったのを覚えています。中国各地で校友が活躍しているのを知り、とても誇らしく思いました。その後、ホームページの開設や応援団出身の唐橋伸也さんなどの協力により呼び掛けを強化し、2001年12月の『法政上海会』『オレンジの集い in 北京』の開催を経て、法政大学チャイナ校友会が発足したのです。」

※https://www.hoseinet.or.jp/20181207_china/



2018年5月26日、法政大学チャイナ校友会15周年記念式典にて。中央の台に座る3人のうち、左端が楠本路子さん(1991年法学部卒)

お問い合わせ: 一般社団法人 法政大学校友会事務局 Tel 03-3264-1831 Eメール info@hoseinet.or.jp ウェブサイト <https://www.hoseinet.or.jp/>



HOSEI ミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

重量挙げ部とオリンピックの栄光 〜競技の発展を支えた三宅義信〜

1962(昭和37)年に本学を卒業した三宅義信は、ウエイトリフティングで数々の世界新記録を出し、オリンピックにも4度出場しました。その歩みは、日本の同競技の発展史に重なるといえます。

1939年、宮城県柴田郡村田町に生まれた三宅は、高校時代にバーベルと出会い、「小柄な自分でも活躍できる」と練習に励み、短期間で大会への出場を果たします。

1951年に創設され、翌年から始動した本学の重量挙げ部では、高校時代に全国大会で優勝した木暮茂夫が活躍していました。

高校卒業後も競技を続けたいと考えた三宅は、スポーツで国際舞台に立つためには、日本の言葉に磨きをかけ、人格を高めることが大切だと考え、1958年文学部日本文学科に入学し、学問とス

ポーツの両方に精進します。

在学中に迎えた1960年ローマ五輪には、木暮と共にバンタム級で出場。前年に世界記録を出した三宅に期待がかりましたが、調子を崩し、銀メダルに終わりました。その悔しさを晴らすため、次の4年間は明確な目標と詳細なスケジュールを立てて過ごしたといっています。

1階級上のフェザー級で挑んだ1964年東京五輪では、397・5キロの世界新記録で念願の金メダルに輝きました。また、本学重量挙げ部の一ノ関史郎(バンタム級)と大内仁(ミドル級)も銅メダルを獲得しています。

3度目となる1968年メキシコ五輪には、6歳下の弟で本学経済学部を卒業したばかりの義行と共に出場。義信は思うように練習

ができない状態でしたが、フェザー級で見事金メダルを獲得し、銅メダルの義行と兄弟そろって表彰台に立つ姿が話題を呼びました。大内は銀メダルを獲得し、一ノ関も5位入賞を果たしています。

本学の重量挙げ部の伝統はその後も続き、キャリアデザイン学部で学んだ三宅宏実(義行の娘)も、卒業後にオリンピックに3度出場。

2012年ロンドン五輪で銀メダル、2016年里オデジャネイロ五輪で銅メダル(いずれも48キロ級)を獲得しています。

三宅義信は、引退後も指導者として日本のウエイトリフティング界に貢献。練習環境の整備にも尽力し、福島県郡山市に造られたトレーニング場では、日本代表や本学重量挙げ部の強化合宿が行われています。

2020年6月、HOSEI ミュージアムが段階的開館を開始しました

オープニングテーマ展示 「HOSEIスポーツの原点」

100年にわたって切り開いてきた法政スポーツと、その原点を形づくった人物やエピソードを紹介
場所: 市ヶ谷キャンパス九段北校舎1階
詳細: HOSEIミュージアムウェブサイト
(<https://museum.hosei.ac.jp/>)



- 1 大学1年時、ボディコンテストに出場した三宅義信(本人提供)
 - 2 三宅義信が、四度のオリンピック出場後に自らの半生をまとめた『バーベル人生』(善本社、1973年)
 - 3 2012年ロンドン大会で三宅宏実が着用したコスチューム一式(本人寄贈)。展示では、ベルトに入った刺しゅう「Hiromi」なども、間近に見られる
- ※競技の階級はすべて当時のもので、バンタム級は現在の56キロ級、フェザー級は62キロ級、ミドル級は77キロ級に相当します。

2019.12～2020.05

HEADLINES

 本学と学生、教員、卒業生、付属校などに関連する
主要トピックスをまとめました。

2019年12月

 岩手県陸前高田市とSDGs推進連
携協定を締結

 日本最大級の環境関連イベント「エ
コプロ 2019」に出展

 デザイン工学部システムデザイン学
科の学生が「ハードウェアコンテス
ト GUGEN2019」にて大賞を受賞

 理工学研究科電気電子工学専攻の
山本真依さんが「第20回計測自動
制御学会システムインテグレーション
部門講演会(SI2019)」にて「優
秀講演賞」を受賞

 理工学研究科機械工学専攻の高木
美甫さんが「日本材料科学会 第26
回材料科学若手研究者討論会」に
て「プレゼンテーション賞」を受賞

 フェンシング部「第72回全日本フェ
ンシング選手権大会」男子フルー
レで学生史上初の全日本4連覇

2020年1月

 「開かれた法政21」学術・文化奨励
金授与式および懇親会を実施

 水泳部「アリーナカップ 第27回東
京六大学水泳冬季対抗戦」女子総
合優勝、男子3位

 令和元年度「公認会計士試験合格
者交流会」「公認会計士試験合格
祝賀会」を開催

2月

 第42回(2019年度)法政大学懸賞
論文授賞式を開催

 経営学部洞口ゼミの学生が「第33
回2019年度中小企業懸賞論文」
金融部門にて準賞を受賞

社会学部青木ゼミの学生が「TOHO

 KU LOVE2019 GAKUSEI
MOVIE CONTEST」のPRムー
ビー部門でグランプリを受賞

 情報科学研究科の小室光広さん
が国際シンポジウム「25th Inter
national Symposium on Arti
ficial Life and Robotics, AROB
25th 2020」にて「Young Author
Award」を受賞

 スキー部、女子GSなどアルペンス
キー競技で好成績

3月

 環境センターの取り組みが「第13
回新宿エコワン・グランプリ グル
ープ部門優秀賞」を受賞

 大学公式ウェブサイトのリニューアル
オープン

第138回学位授与式の中止

4月

2020年入学式の中止

 「オンライン授業」にて春学期の授
業開始

5月

 課外教養プログラム「多摩キャン
パスバーチャルツアー」開催

 新入生のさまざまな疑問に答える
「新入生サポート」をオンラインで
実施

 図書館主催の「つながる読書会」
開催

 日越大学(ベトナム)との「オンライ
ン学生交流会」を開催

 広報誌「HOSEI」全ページウェブ
掲載を開始

法政フェア2020 開催中止

2020年9月に開催を予定していました「法政フェア2020」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止することといたしました。ご参加を楽しみにされていた皆さまには、ご迷惑をおかけすることとなり大変申し訳ございませんが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

法政フェアについてのお問い合わせ先

卒業生・後援会連携室

☎03-3264-4924(平日9:00～11:30,12:30～17:00)

E-mail:koyu@hosei.ac.jp

デザイン工学部今井准教授らの研究グループが
文部科学大臣表彰・科学技術賞を受賞

デザイン工学部都市環境デザイン工学科今井龍一准教授が、令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞(科学技術振興部門)」を受賞しました。

受賞対象となった研究は、人の移動に関わる交通実態を把握するための解決策として、携帯電話ネットワークの運用データ(GPSではない所在エリア情報)を元に、どこからどこに何人移動したかを示す人口流動統計です。広域の移動経路や手段別(飛行機、新幹線や高速道路の利用)の交通量推計も可能としています。都市交通調査に求められる統計的な信頼性を有したデータとして、地域創生や防災計画など、多様な分野での活用が進められています。

情報メディア教育研究センター上田教授らの
グループが文部科学大臣表彰・科学技術賞を受賞

情報メディア教育研究センター上田浩教授が、高等教育機関のための情報セキュリティ規定と教材の普及啓発の業績により、令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞(理解増進部門)」を受賞しました。

同教授らは、「高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集」と教材を作成・公開することにより、情報セキュリティポリシーの普及啓発と支援を進め、最新の状況に対応した改訂と普及促進を行ってきました。情報セキュリティ教材のe-learningシステムによる提供も特徴であり、同教授が中心となって開発され、多くの大学などで教育に組み込んで利用されている「倫倫姫と学部!情報倫理:多言語情報倫理・セキュリティ教育オンラインコース」は2019年度情報処理学会 優秀教材賞を受賞しています。これらの取り組みが、わが国の高等教育機関の情報セキュリティ水準の維持、向上に貢献してきたことが認められました。

「法政大学懸賞論文」
「デジタルコンテンツ・コンテスト」募集

学生の研究活動を奨励し、論理的記述能力の向上を図ることを目的とした「法政大学懸賞論文」、デジタル技術を駆使してアイデアやメッセージを視覚的に表現する「デジタルコンテンツ・コンテスト」の本年度の募集要項を本学ウェブサイト公開しました。

【応募期間】懸賞論文:9月28日(月)～10月5日(月)

デジタルコンテンツ:9月18日(金)～10月8日(木)

サッカー部の3選手が
Jリーグのプロサッカークラブに加入内定

サッカー部の高木友也選手(経済学部4年)の横浜FC加入が内定しました。また、長谷川元希選手(現代福祉学部4年)、関口正大選手(現代福祉学部4年)のヴァンフォーレ甲府加入が内定しました。3人とも「2020年JFA・Jリーグ特別指定選手」に認定されたので、今シーズンからのJリーグ出場が可能となりました。皆様、応援をよろしくお願いします。


 関口選手
(写真提供:サッカー部)

 長谷川選手
(写真提供:サッカー部)

 高木選手
(写真提供:サッカー部)
海外交流協定大学と
オンライン学生交流会を開催

ビデオ会議「Zoom」を使用し、日本にいなが海外の学生とつながる企画として「オンライン学生交流会」の開催が進んでいます。5月29日(金)を皮切りに、すでにベトナム、中国、カンボジア、韓国にある複数の海外交流協定大学と、7月までに計9回の交流会を実施しました。

交流会では、日本語を勉強している海外の学生との交流は日本語、それ以外は英語を使用。当日は少人数のグループに分かれ、「新型コロナウイルス(COVID-19)で考えたこと」「日常生活はどのように変化したか」などをテーマに、それぞれのステイホーム経験での気付きを語り合うグループディスカッションを実施。ディスカッション後は、それぞれのグループで話し合った内容をプレゼンテーションし、全体で気付きをシェアするなど、新たなスタイルでの異文化コミュニケーションの機会となりました。

※当日の様子は、HOSEI EYE(→P.2)でも紹介しています。

KANDAI×HOSEI
SDGsアクションプラン募集

本学と関西大学はパートナーシップの下、「SDGsアクションプランコンテスト」持続可能な未来のために私たちができること」を開催します。

両大学に在籍する学部生・大学院生を対象に、自らが主体となり、SDGsを達成するために実現可能で、複数のゴールに関連するようなアクションプランを募集します。

応募受付締め切りは9月1日(火)です。一次審査を通過したグループは、11月7日(土)に開催される本審査(プレゼンテーション)に臨んでいただきます。

詳しくは、本学ウェブサイトで公開している応募要項を確認の上、所定のエントリーシートを用いてメールにてご応募ください。

【お問い合わせ先】

法政大学 SDGs+(プラス)プロジェクト事務局

(総長室付教学企画室)

Tel: 03-3264-9930 E-Mail: kyogaku@hosei.ac.jp



『H-Line』2020を発行

大学の各種データを掲載した学校法人法政大学案内『H-Line』2020(A5判64ページ)を発行しました。本冊子は主に学外・一般の方に配布されます。



2020年度大学祭日程

2020年度の各キャンパスの大学祭日程は下記の通りです。

※下記は予定であり、変更の可能性もあります。

	市ヶ谷 法政祭	多摩 法政祭	小金井 法政小金井祭
準 備	11月4日(水) 3時限以降	—	11月4日(水)
大学祭	11月5日(木) ～11月8日(日)	10月17日(土)・ 18日(日)	11月5日(木) ～11月7日(土)

2020年度本学独自の奨学金の
採否結果の発表時期について

2020年度の本学独自の奨学金(新・法政大学100周年記念奨学金、法政大学学友会奨学金、大成建設株式会社奨学金、鈴木勝喜奨学金、株式会社エイチ・ユー奨学金など)の採否結果が8月下旬に発表されます。申請された方は、法政大学情報ポータルサイトでご確認ください。

採用期間は1年間で、年額を2回に分けて給付します。8月下旬と12月中旬に申請の口座に振り込み予定です。

これらの奨学金は返済不要の給付型ですが、2020年度中に休学、退学、除籍などの学籍異動があった場合は、返還の義務が生じます。また今年度の採否を問わず、毎年申請が可能です。

2020年4月からスタートした国の
「高等教育の修学支援新制度」次回申請について

2020年4月から国が実施している住民税非課税および非課税に準ずる世帯などを対象とした「高等教育の修学支援新制度」(授業料等減免、給付型奨学金)は、本学も対象校です。学部在学生の次の新規申請日程などは、2020年8月頃にご案内できる予定です。詳細は本学ウェブサイトを早めにご確認ください。

2021大学案内・入試ガイドと15学部の
学部紹介パンフレットが完成

2021大学案内・入試ガイドと本学全15学部の「学部紹介パンフレット」が完成しました。全国で実施する進学相談会などで配布するほか、ウェブ上でもご確認いただけます。

法政大学入試情報サイト

法政 入試

検索



本学専任教職員の最近の著書、編纂書、訳書をご紹介します。

BOOKS



国会をみよう 国会パブリックビューイングの試み

「国会をみよう。そして考えよう」と呼び掛ける上西充子教授は、国会パブリックビューイングを主宰。街頭にスクリーンを持ち込んで国会審議映像を映し出し、その横で自らマイクを握ってライブ解説を加え、国会で起きていることを人々に知らせている。本書は、そのようにして誕生した国会パブリックビューイングという、小さいが新しいメディアによる1年間の活動記録。

上西 充子 著
キャリアデザイン学部
キャリアデザイン学科 教授
出版社：集英社クリエイティブ
発行：2020年2月



江戸とアバター 私たちの内なるダイバーシティ

田中優子総長が本学協定校のニューヨーク・ニュースクール大学教授の池上英子氏と共に、江戸の分身たちをバーチャル世界に生きる現代のアバターたちに重ねながら、よりよく生きる方法を探るという書。江戸文化の多様性はダイバーシティそのもので、一人が何役も「アバター」として演じる落語にその姿が垣間見られる。米国で議論されている「パブリック圏」をひいて、日本人が本来持つしなやかな生き方を論考する。

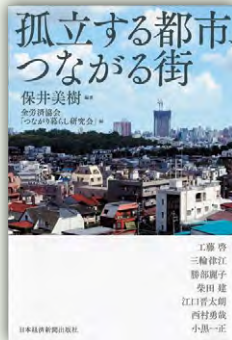
田中 優子 他1名 著
法政大学総長
出版社：朝日新聞出版
発行：2020年3月



ヴァイキングの誓い

孤独な少年ジェスティンと兄と慕うヴァイキングのトーマッド——。彼との出会いがジェスティンの運命を変えた。ヴァイキング同士の復讐の戦いに巻きこまれ、旅に出たジェスティンが、最後にたどりついた場所とは。葛藤を抱えながらひたむきに生きる少年を、イギリス児童文学の異才サトクリフが描く。

ローズマリー サトクリフ 著
金原 瑞人 他1名 訳
社会学部社会学科 教授
出版社：ほるぷ出版
発行：2020年3月



孤立する都市、つながる街

引きこもり、孤独死、幼児虐待事件——。都市生活ではコミュニティの希薄化が進み、住民は孤立し、「玄関の中で起きている問題」が見えにくくなっている。こうした問題は、決して他人事ではない。では、どうすればいいか——。研究者、地方行政担当者、地域活動の専門家たちが、自らの活動で得た経験・エピソードを豊富に紹介しながら、地域の人々が支え合い、街の価値を上げるための方策を多方面から解説する。

全労済協会「つながり暮らし研究会」編集
保井 美樹 編著
現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授
出版社：日本経済新聞出版
発行：2019年10月

※日外アソシエーツ 図書内容情報BookPlusを参照

HOSEI 8・9月号

令和2年8月1日発行
第47巻第4号（通巻717号）

発行 法政大学 総長室 広報課
〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
TEL.03-3264-9240

協力 法政大学後援会

企画・制作協力 (株)日経BPコンサルティング

印刷所 図書印刷(株)



法政大学生協同組合書籍部より

＜小金井キャンパス＞
オンライン授業に対応

新型コロナウイルス感染症の影響により、3月中旬頃からさまざまな行事が中止になりました。学内にも緊張が感じられ、新学期はどうなるのかの不安もありました。学生の皆さんの入構が禁止となり、既に仕入れてしまった教科書をそのまま返品するのかと覚悟していましたが、教職員の方々の協力もあり、ウェブでの販売をすることができました。準備期間1カ月弱で、注文受付、ピックアップ、発送と、感染に注意して少ない人数でやりくりするのは思いのほか大変で、似ているタイトルを間違えたり、発送漏れが生じたりと、学生の皆さんには少なからずご迷惑をかけたのではと申し訳なく思っております。

販売の忙しさは収束しつつありますが、静かな学内が少し寂しくも感じます。秋学期にはお会いできるのを楽しみに頑張ります。 (小金井購買書籍部)



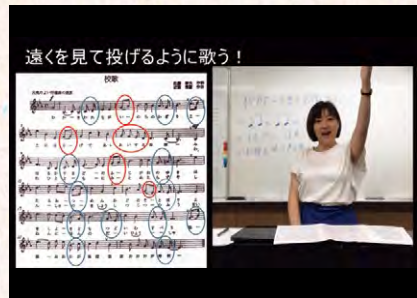
法政大学中学高等学校

できることから始めたオンライン授業の取り組み

外出自粛となった4月から、「できることから、できる人から」「学びを止めない」を合い言葉に、多様な取り組みを始めました。複数の教員が講師となり、教員間で勉強会を開催。スマホで手軽に作るYouTube配信動画についてもレクチャーしました。生徒の通信環境調査を行い、家庭での環境整備にもご協力いただき、ビデオ会議「Zoom」による双方向型ホームルームも進めました。5月に

はオンライン学習ツール「まなBOX」を導入し、課題提出や生徒への個別の声掛けも可能になりました。

10年目を迎えた子育て茶話会も、ビデオ会議で毎月開催し、保護者、教員、スクールカウンセラー各回20余人が参加。5月は家庭でのゲームのルールづくり、6月は長引く休校のストレスとどう付き合うかを話し合いました。6学年の保護者同士でヒントが得られ、実り多き



会となりました。

緊急の備えとしてのみならず、学びを深めるツールとして、今後もオンライン授業の利点を生かし、対面授業と両立させ、生徒の学習保障に役立てます。



法政大学第二中・高等学校

コロナの下での二中高

二中高でも新型コロナウイルス感染症の影響は避けられず、3月から5月末までは休校、それ以後も分散登校という、歴史的にも未経験な状況が続きました。

休校期間は「学びを止めてはならない」を合い言葉として、まずは教員総出で教科書類を各家庭に配送し、オンラインを活用した遠隔授業や生徒面談などに取り組みました。教員と生徒、保護者双方の環境設定と操作技能の習熟が前提と

なるだけに、幾度も試行錯誤を繰り返しました。それでも画面と音声だけで、生徒たちの孤独感や不安を解消し、学習意欲を高めることは決して容易ではありません。しかしながら、できることをまずはしなければ、家庭の負担に応えることはできません。

教員と生徒たちが時間と場所を共有することこそが、教育の根幹であることを再認識する機会になりました。ここで得



たICT（情報通信技術）教育に関する知見とスキルをはじめ、新しい生活様式を前向きに取り入れ、今後の学校教育に活かしていきたいと考えています。



法政大学国際高等学校

休校中も学びを止めない

新型コロナウイルス感染症対策の政府要請を受け、3月5日（木）から臨時休業に入り、その後の状況に応じて6月3日（水）まで延長しました。その間、生徒は基本的に自宅待機とし「Google Classroom」、「Google Meet」、「Zoom」などを使ってオンラインでの遠隔授業や学習指導を行ってきました。

教科書は受講授業に応じて箱詰めして郵送し、入学式、オリエンテーション合宿、

体育祭、研修旅行などは中止。このようなストレスが生じがちな環境の中でも、生徒は協力をしてくれ、教員も知恵を出し合いながら、「自由を生き抜く実践知」を追究し、学びを止めず進めてきました。

6月4日（木）から年次、コース、授業に応じた分散時差登校を段階的に開始しました。生徒と教員が同じ空間で共に創る授業が部分的に再開しましたが、「三密」防止のため、夏休みまではオン



ライン授業を主とした形が続きます。

秋以降の学校生活に向けて、「第二波」に備えつつ、生徒と教員の対話を大切にしながらプランニングを進めます。

2019年度

自由を生き抜く実践知大賞 2

2019年度「自由を生き抜く実践知大賞」には大学憲章を体現するような実践の取り組みとして18件がノミネート。厳正な審査にて、大賞と大学憲章に連なる本学の理念などのキーワードを冠した4賞の計5賞が選ばれました。ここでは、それぞれの受賞の取り組みを順に紹介します。

自由を生き抜く実践知大賞

「法政大学植物医科学センター」

(実践主体:生命科学部)



ノミネート理由・活動概要

植物医科学センターは、植物の病気、虫害、生理障害および植物育成地の自然環境保全、修復などに関する検査、診断、研究、それらに関する助言や情報の提供を行う機関として、2014年度に生命科学部応用植物科学科内に創設され、活発に活動を展開しています。

2014年6月～2019年3月の5年間で、研究協定9件、委託・寄付研究18件の研究診断契約を締結。樹木病害やダニ類の診断同定依頼を中心に、142件の診断依頼がありました。技術研修は17回開催され、のべ525人以上が参加。47回の出前講座・講義を行い、のべ2170人以上の参加者に対して、植物医科学の講義や講演を実施しています。

近年では、James Ng氏（カリフォルニア大学リバーサイド校准教授）など国際的に著名な研究者を招請して、学外の学生も交えた公開セミナーを企画し、教育や研究の成果を社会に発信しています。

総長からの選定理由コメント

世界で生産される農作物のうち、約3割は病気によって失われているといわれています。都市緑化や植物工場における栽培によって、新たな病気も発生しているということです。

植物医科学センターの活動は、食料問題と環境問題を組み合わせた「社会の課題解決」の組織です。植物の研究はともすると、経済発展のために、遺伝子組み替えや農薬、化学肥料依存による増産に向かいがちです。しかし植物医科学センターは病を治すという、植物の側に立った選択をし、生態系をできるだけ損なわずに、人間の飢餓を回避する方向に向かっていきます。青梅地域の梅の木に伝染している病気を突き止め、植木関係者や高校生への研修をおこない、診断方法をサイトで公開して誰もが使えるようにしています。まさにこれは、持続可能性という理想に向かう実践知そのものではないでしょうか。

受賞者からの感想

本センターの活動は、持続可能な社会を脅かす「植物病」に対して、生命科学部応用植物科学科の「研究知（基礎力）」を「実践知（応用力）」に変換して、社会にあまねく還元するものです。医学分野で例えると、医科大学における附属病院に相当するものです。世界的に見ても本センターのような機能を持つ組織は少ないようです。

なによりうれしかったことは、大賞に選出された瞬間、診断や同定に携わった学生たちの頬がバラ色に染まり、喜びに満ちたことです。講義などでは体験できない、貴重な財産となったと信じています。「実践知」とは、理想の社会を見据えて、自分の場で何ができるかを思考し、行動することです。引き続き「一隅を照らす」事業を継続してまいります。（法政大学植物医科学センター長 石川成寿）

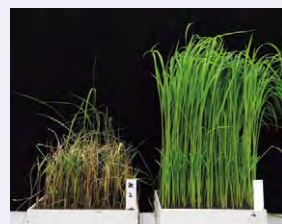
コロナ禍が過ぎても「植物病」との戦いは果てなく続く

生命科学部教授 植物医科学センター長 石川 成寿

法政大学植物医科学センターの活動は、2019年12月に「自由を生き抜く実践知大賞」に選出されました。その活動に弾みがついた矢先、コロナ禍中に入ってしまった。

本センターは、持続可能な社会を脅かす「植物病」に対して、「実践知」を剣にして挑む機関です。「植物病」は、アフターコロナでも、人類に仇なすものとして厳然と存在します。本センターの基盤である応用植物科学科

では、医学が「天然痘」を撲滅したように、「環境にやさしい」方法で、植物病の一つでも多く撲滅しようとしています。後々、「これは法政大学がコロナ禍中にも粘り強く、研究開発したもので、自然と共生する農民にも感謝されている」と、口の端に上るものになりたいと考えています。禍中であり、肝を嘗め、薪を床にする日々ですが、スタッフ全員、学生を励まし、導き、精進しています。



イネ苗立枯細菌病に対する防除試験
(左:無処理イネの発病状況/右:環境にやさしい物質処理による高い防除効果)

